



令和7年度 富士市立富士第二小学校グランドデザイン

学校教育目標 やさしく いきる

学校経営目標「みんなのやさしさに『ありがとう』

笑顔あふれる小木の学校」

学習指導要領

静岡県教育振興基本計画

富士市教育振興基本計画

＜学校経営の基本理念＞

○みんなで、子どもたちの思いを実現する

○みんなが、予測できない未来に対応し、豊かな未来を築いていく力を育む

保護者・地域の願い

子どもの実態

南中校区小中一貫教育ビジョン めざす子ども像「やさしく いきる」

＜めざす子どもの姿＞

○互いの違いを受け入れながら、よりよい方向へ踏み出すことができる子

○他者との温かな関わりを意識した挨拶のできる子

(おはよう こんにちは さようなら ありがとう ごめんなさい)

○自ら、健康的で規則正しい生活ができる子

PLAN

重点目標「みんなのやさしさに『ありがとう』」

知

「まなびのたね」から
「みんなと解決する力」を育む

徳

「やさしさのたね」から
「人(自分・相手・みんな)」を
思いやる力」を育む

体

「けんこうのたね」から
「みんなとチャレンジする
力」を育む

「三つのたね」が「三つの力」となり、「大切な自分」が育つ

子どもを支える指導体制→心の居場所のある温かい人間関係・子どもの人権を守る・特別支援教育

学級・学年・学校文化の創造→子どもが主役のみんなの学校・確かな学年学級経営と子ども理解

授業改善 研修テーマ「聴いて つなげて 考える」

家庭・地域と共につくる学校→社会に開かれた教育課程・コミュニティスクール(学校運営協議会)★

他者意識をもった温かなあいさつの推進★

安全・安心な学校→命を育む健康教育、安全教育の推進・6年間での系統的な防災教育★

★：CSのかかわり

ギガタブレットを授業で活用している 97%

安心して任せられる学校である 96%

R6 学校評価アンケート結果

楽しく学校に通っている 89%

学習したことがよく分かっている 92%

友達にやさしくしている 95%

R6 学校評価アンケート結果

CHECK

児童・保護者・教職員アンケート、外部評価、学校運営協議会、学校評価委員会等

数値目標 90%以上

ACTION

課題解決が可能な改善案を様々な角度から考え、実践する

ステージ1「つくろう」

(4月～5月)

ステージ2「のぼそう」

(6月～前期終業式)

ステージ3「ひろげよう」

(後期始業式～1月)

ステージ4「つなげよう」

(2月～3月)

コミュニティ・スクール「小木の子」～子どもは地域の宝 地域と共につくる学校～

◎子どもの学びを共に創る 読み聞かせ けやきの学校(平仮名・音読・計算など) トークフォークダンス

◎安心・安全な学習環境や生活環境づくり 学習活動補助 環境整備 校外活動支援

◎学校と地域との連携体制づくり 各種団体との意見交換 夏のワークショップ

学校運営協議会の開催
広報誌等で発信・募集



令和7年度 富士市立富士第二小学校グランドデザイン【裏面】

《三校一貫目指す子ども像》 **やさしく いきる**

学校教育目標『やさしく いきる』

重点目標

「みんなのやさしさに『ありがとう』」

子供の実態 (○よさ・▲課題)
○素直でのびのびしている
○言われたことをしっかりできる
▲自分らしさを出せない子がいる
▲相手を傷付ける言葉を使うことがある
保護者・地域の願い
自分や相手を大切にする子どもになってほしい

★確かな学力
(資質能力の育成)

知

まなびのたね

みんなと かいけつする力

《目指す姿》

- ・自分事として考える子
- ・相手を尊重して聴く・伝える子
- ・安心して、わからないと表現できる子

★学力向上

- ・一人一人の子どもを理解し、認める学級づくり
- ・子どもとつくる学びの種コーナー
- ・「～たい」が生まれる自分事の授業を目指した講師招聘
- ・「～たい」が生まれる自分事の授業を目指した校内研修

★情報の活用

- ・各分野における ICT の効果的な活用。
- ・学びのツールとしての「タブレット・本」の活用充実。
- ・ICT について教師が研修する時間の確保充実。
- ・「昼ぐんぐん」に「読書旬間」「タイピング技能向上習慣」の設定。

★豊かな人間性

徳

やさしさのたね

**人(自分・相手・みんな)を
おもいやる力**

《目指す姿》

- ・自ら進んで行動できる子
- ・人に『ありがとう』を伝えることができる子
- ・人の良さや頑張りにも気づき、認めることができる子

★生徒指導

- ・学校いじめ防止対策基本方針を意識した対応
- ・いじめアンケート、いじめ把握シート、ヤングケアラー調査の活用
- ・生活目標を活用し、振り返る

★特別活動

- ・異年齢で関わり合う活動 (にこにこタイム)
- ・児童が計画、運営する活動 (児童集会や委員会)
- ・三校合同あいさつ week
- ・80 周年を記念した二小まつり

★道徳教育

- ・道徳の授業の充実
- ・重点内容項目「親切・思いやり」
- ・道徳コーナーの設置 (重点内容項目を進化・蓄積)

★健康・体力

体

けんこうのたね

みんなと チャレンジする力

《目指す姿》

- ・「はやね・はやおき・朝ご飯」を続ける子
- ・安全に気を付けて生活する子
- ・体づくりの楽しさを見つける子

★体育

- ・体育学習発表会の全校開催
- ・体育器具の整理、整とん
- ・昼休みの活性化
- ・アイディア活動の充実 (フリスビードッジボール大会等)

★健康・安全

- ・学校保健委員会 (5 年)
- ・薬学講座 (6 年)
- ・健康診断、身体測定時の保健指導
- ・ストレスチェック (5、6 年)
- ・スクールカウンセラーとの連携
- ・おやこんぼ(メディアコントロール)
- ・こども見守り活動の継続
- ・交通教室 (1、4 年) 自転車教室 (4 年) 避難訓練 (地震・火災) 引き渡し訓練、あぶトレ実施 (4 年)
- ・職員による安全教育研修 (火災、地震、不審者対応、交通安全) の実施

生徒指導
提要

「自分」をつくる

★居場所づくり(教職員集団が子どもを支える指導体制)

- * 南中校区小中一貫ビジョンに基づく「五つのつなぐ」取組の充実
- * SC、SSW、外部機関等との連携による教育相談
- * 「教科担任制」「学年担任制」「サポートはチームで」による複数支援
- * ぐんぐんタイム、昼ぐんぐんタイムの効果的な運用
- * 関わる力を伸ばすロング昼休み

★絆づくり(学級・学年・学校文化の創造 地域と共にある学校)

- * 園小・小小・小中連携によるスムーズな接続
- * CSD による学習サポートや環境整備等のコーディネート(募集・企画)
- * 個人面談、授業参観、懇談会、便り、マチコミメール、ライデンスクール、HP 等による情報発信と信頼関係づくり

★自己決定(子どもが主役 安全・安心な学校)

- * 各学年に防災教育担当を配置
- * 毎月 15 日は全職員で見守り時間
- * 月朝の迎え入れ、金屋のやさしさタイムの位置づけ
- * 保護者や地域の皆様による登下校の安全見守り
- * 予定プリントによる見通しをもった生活づくり

学校経営目標

「みんなのやさしさに『ありがとう』

笑顔あふれる小木の学校」